

はじめに



中城村本庁舎は昭和 40 年に庁舎の一部が建築され、約 47 年が経過し現在の庁舎となっております。

現庁舎は、沖縄県内でも古い建物であり、施設・設備の老朽化、耐震性の低さ、バリアフリーの実現が困難であること、本庁機能が分散し来庁者にわかりにくく、非効率な行政サービスとなっていることなど多くの問題を抱えております。

また、東日本大震災の被災状況や本庁舎の現状を考えますと、村民の皆様への安全・安心を支える防災拠点としての役割を果たすには大きな不安があるため、早急に新たな庁舎を整備する必要があります。

災害は必ず発生するとの考えに立ち、総合的な防災拠点として、災害救急・復旧・復興活動の要としての庁舎整備は先送りできない重要な課題であると考えています。

本計画は、新庁舎建設における具体的な考え方や、設計に際しての諸条件を整理したものです。これから実施する基本設計においては、本計画の内容を十分に踏まえつつ、充実した機能を備え、村民の皆様により親しまれる庁舎が提案されることと期待しております。

今後も引き続き、新庁舎建設に対する村民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 25 年 月

中城村長 浜 田 京 介